



2016年5月25日

昭和フロントが「第47回ストアフロントコンクール」 受賞作品を発表。

三和ホールディングス株式会社（本社：東京都新宿区／CEO：高山俊隆）の連結子会社である昭和フロント株式会社（本社：東京都千代田区／社長：長谷川伸二）は、「第47回ストアフロントコンクール」受賞作品を発表しましたのでお知らせします。

1970年から始まったストアフロントコンクールは今回で47回目を迎えました。業界で最も古い歴史があり、歴代の入賞作品は技術性、デザイン性に優れ、業界の注目を集める作品として高い評価を受けています。

今回は応募総数 1,542 件を数え、全国より優れた作品が数多く寄せられました。「店舗建築部門」「一般建築部門」では、デザインや建物全体との融合などを中心に、また「アイデア部門」ではアルミ型材の可能性を拓ける魅力ある作品かどうかをポイントに審査がおこなわれ、グランプリのほか部門ごとに賞が決定しました。

コンクール総評

47回目を迎えるこのコンクールで受賞者された皆さま、おめでとうございます。今回も店舗建築部門、一般建築部門に加えて、前々回からユニークな発想と技術を称えるアイデア部門を募りました。

例年のように、さまざまな形でフロント材が活躍している様子を見せて頂きましたが、新しい傾向としてリノベーション建築のファサード処理にもかなり使われているのが印象的でした。また、光るガラス面 EcoLEDa がこれからのショップフロントを大きく変えるであろうという予感を強く受けました。

こうした変化やアイデアを、設計者、施工者、メーカー代理店の連携により、時代やクライアントの要望に応えながら、美しいデザインのフロントが益々増えることを期待しています。

審査委員長/八木 幸二氏

グランプリ受賞 「フレスポ恵み野」



(審査委員長コメント) 札幌-千歳間に位置し、JR 北海道千歳線恵み野駅にも幹線道路にも近い大型ショッピングセンターである。周辺には大型店舗が点在し、広々とした駐車場に囲まれて広大な建物が鎮座する光景は、アメリカ的合理主義そのものといえる。建物は言うまでもなくローコストだが、一般的なロードサイド店舗の派手で強烈なデザインとは違い、エレガントな色調とパターンで壁面を構成し、大きく彫りの深いエントランス部分にはアソートと EcoLEDa を使って、昼は白いゲート、夜は行燈のような光の門となる。EcoLEDa の使い方として効果的な形と言えます。

すっきりした建築の中央に力強いデザインのエントランスがあり、入ってみたいくなるような魅惑を感じさせるフロントデザインは、グランプリに値すると評価した。

審査委員長/八木 幸二氏

店舗建築部門 金賞受賞
「AUTO CAFÉ BUILDING」



（審査委員コメント）多面体による建物の形を形成し、単一になりがちな建物の形状を有機的なフォルムに収め、車好きな人たちが集まるお洒落な雰囲気とうまく表現しています。また、昼の顔と夜の雰囲気が全く異なったイメージを表現しているのが素晴らしいです。スチール素材の使い方が建物自体を軽く見せ、いつの時代においても車とのハーモニーを感じ取れます。

審査委員/牛建 務氏

一般建築部門 金賞受賞
「株式会社東芝 水素エネルギー研究開発センター」



（審査委員コメント）非常に気持ちのいい作品である。フロント材の使い方が軽快で、外部と内部のつながりが心地よいです。ふわっと持ち上げられたようなひさしの形が個性的なので、よりフロント材の軽やかさが強調されています。

審査委員/橋本 夕紀夫氏

アイデア部門 優秀賞受賞 「NCO 札幌ホワイトビル リノベーション工事」



（審査委員コメント）このアイデア部門は、従来からある部材・部品に何らかの工夫とアイデアを加え、ワンランク上の製品へと仕上げられていると思う。それは、意匠的な観点からでは判りにくいですが、現場での作業性や効率性、さらに言えば運搬方法等も工夫されていることに考えさせられた。

今後、メーカーとして新しい部材・部品が開発・検討されていく中で、加工店側の知識や応用力、アイデアも融合させていければより良い部材に、さらにはより良い製品、現場へと進歩していけるのではないかと感じた。

審査委員/有田 哲也 氏（株式会社有田工業 専務取締役）